

むつ小川原開発地区への立地動向メモ

2016年6月10日

新むつ小川原株式会社

むつ小川原開発地区への投資総額は2000年から2020年までの20年間で約1,200億円を超える見込み。投資動向について、この20年間を便宜的に第Ⅰ-Ⅲ期に分けて概括すれば以下の通り。

第Ⅰ期(2000-2009年)においては風力発電施設が立地。風力発電に適した下北半島の地形や風況に加え、既に開発地区に整備されている電力、道路、港湾等のインフラ環境が評価されたもの。

第Ⅱ期(2010-2012年)においては技術産業の集積の進行に特徴。有機EL照明やタッチパネル製造などの先端産業の製造工場が進出したほか、県内におけるメンテナンス産業の契機となった風力発電トレーニングセンターも建設。また、ITER計画に基づく研究施設の建設も進められた。

第Ⅲ期(2013年-2020年)は自然エネルギーの活用や人材育成に傾向がシフト。広大な土地を利用したメガソーラーならびに、冷涼な気候を利用した超省エネルギー型データセンターが実現。建設中の原子力人材育成・研究開発拠点施設(仮称)は原子力産業の集積する立地環境によるもの。

2016年以降も陸上および洋上の風力発電施設の建設等が予定。2018-19年にかけて公表ベースで約200億円が投資される計画。将来の投資計画には不確実性もあるが、計画の着実な実行を支えることで開発地区へのさらなる投資と発展につなげていく所存。なお各事業の詳細については、次ページ以降の別表資料を参照。

※本メモには、公共投資、日本原燃(株)、立地企業への更新投資情報を含まない。

／以上





むつ小川原開発地区への立地動向(主な案件)


※施設概要は全て 2016 年 5 月末時点の情報、斜体で記載の事業費は見込み

資料

	操業開始	施設名称	事業主体	施設概要	事業費
第 I 期	2000 年 8 月	(株)トヨタフローリテック	(株)トヨタフローリテック	現(株)フローリテックジャパン(2014 年～)の前身	—
	2001 年 7 月	エーアイエス(株)	エーアイエス(株)	(株)ANOVA の前身	—
	2002 年	—	—	—	—
	2003 年 1 月	むつ小川原ウインドファーム 	エコ・パワー(株) (コスモ石油グループ)	風力発電機：1,500kW×21 基 発電出力：31,500kW	58 億円
	2004 年 10 月	先端分子生物科学研究センター	公益財団法人 環境技術研究所	環境科学術研究所 (1990 年設立) の施設	—
	2005 年	—	—	—	—
	2006 年 9 月	東北デバイス(株)	東北デバイス(株)	OLED 青森(株)の前身	—
	2007 年	—	—	—	—
	2008 年 5 月	二又風力発電所 	二又風力開発(株) (日本風力開発(株))	風力発電機：1,500kW×34 基(地区外) NAS 電池：交流・直流変換装置 2,000kW×17 ユニット 世界初の大容量蓄電池併設風力発電施設	220 億円 ⁱ
	2009 年	—	—	—	—

第 II 期	2010年3月	国際核融合エネルギー研究センター 	国立研究開発法人 量子科学技術 研究開発機構 (旧国立研究開発法人 日本原子 力研究開発機構)	施設：管理研究棟、原子炉 R&D 棟、計算機・ 遠隔実験棟、IFMIF/EVEDA 開発試験棟 設備：スーパーコンピューターなど ITER 計画の支援と次世代炉である原型炉に向 けた先進的研究開発に取り組む「幅広いアプ ローチ(BA:Broader Approach)活動」の国際研 究拠点	—
	2010年8月	風力発電トレーニングセンター 	イオスエンジニアリング&サー ビス(株)	日本初の風力発電メンテナンス要員育成施設 風車実機を改造したトレーニングシステム等 による研修で、技術向上を図っている	—
	2010年9月9日 ⁱⁱ	OLED 青森(株) 	OLED 青森(株) ((株)カネカの子会社)	敷地面積：1.1ha 従業員数：78名(2016年3月1日現在) ⁱⁱⁱ 有機 EL デバイス製造	—
	2011年11月9日	(株)ANOVA 	(株)ANOVA (親会社は(株)翔栄(群馬県伊勢 崎市))	敷地面積：3.0ha 従業員数：130名(2016年1月1日現在) 主要品目：液晶カラーフィルター加工、タッ チセンサーパネル、有機EL用バックプレー ンなど	—
	2012年	—	—	—	—

第 III 期	2013年9月5日	エネワンソーラーパーク六ヶ所村 	エネワンソーラーパーク六ヶ所村 共同企業体 ((株)サイサン・森和エナジー(株))	敷地面積：5.3ha 太陽電池出力：2,293kW 系統接続発電容量：2MW 一般家庭約 650 世帯の年間使用量分を発電	7 億円
	2014年	(株)フローリテックジャパン	(株)フローリテックジャパン	大規模花卉工場	－
	2015年10月1日	ユーラス六ヶ所ソーラーパーク ・鷹架地区  ・千歳平北地区(地区外) 	(株)ユーラス六ヶ所太陽光 ((株)ユーラスエナジーホールディングス)	敷地面積：253ha 太陽電池出力：150MW 系統接続発電容量：115MW 鷹架地区 140ha 60MW 千歳平北地区 123ha 55MW(地区外) 一般家庭約 38,000 世帯の年間使用量分を発電	490 億円
	2016年1月30日	青い森クラウドベース(株) 	青い森クラウドベース(株) (本社所在地：弘前市)	敷地面積：1.2ha 施設：鉄骨造 1 階建 80 ラック単位で増設可能なモジュラー設計、間接外気冷房+雪氷冷房のハイブリッド空調方式など ^{iv}	－
	2017年2月予定	上北六ヶ所太陽光発電所(完成予想図) 	未来創電上北六ヶ所(株) (双日(株))	敷地面積：143ha 太陽電池出力：71MW 系統接続発電容量：51MW 一般家庭約 19,000 世帯の年間使用量分を発電	230 億円

2017年度予定	青森県原子力人材育成・研究開発拠点施設(仮称) 	青森県	敷地面積：1.2ha 施設：研究棟、RI棟、研修棟、機械電気棟 設備：サイクロン加速器、中性子透過試験装置、材料試験装置、化学分析装置など	58億円
2018年2月予定 (2016年4月1日 着工)	よこはま風力発電(株)	よこはま風力発電(株) (本社所在地：茨城県日立市)	変電所用地等面積：約2.3ha 風力発電機：2,300kW×14基(地区外) 発電出力：32.2MW(鉛蓄電池併設) 一般家庭約15,000世帯の年間使用量分を発電	140億円 ⁱⁱ (建設費)
2018年予定 (2016年着工予定)	むつ小川原港洋上風力発電施設(仮称)	むつ小川原港洋上風力開発(株) (本社所在地：六ヶ所村)	水域面積：約1,000ha ^{vii} 風力発電機：2,500KW×32基 発電出力：80,000KW	—
2019年秋予定 (2017年秋着工予 定)	日立造船(株)	日立造船(株)等の出資による事 業会社を設立予定	風力発電機：3,400kW×18基 発電出力：61,200kW	—
2020年	…	…	…	…
事業費計(公表分のみ、見込含む)				1,203億円

ⁱ 資源エネルギー庁(平成26年10月30日)「再生可能エネルギーの接続可能量の算定方法に関する基本的考え方について(案)」

http://www.meti.go.jp/committee/sougouenergy/shoene_shinene/shin_ene/keitou_wg/pdf/002_01_00.pdf

ⁱⁱ <http://www.kaneka.co.jp/service/news/n100929.html>

ⁱⁱⁱ 青森県(平成28年3月)「世界に貢献する「科学技術創造圏」むつ小川原開発地区」18頁

^{iv} http://aoimoricb.co.jp/business_summary/

^v 青森県「青森県原子力人材育成・研究開発拠点の概要」 <http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/energy/iter-shien/files/kyotenshisetsu-gaiyo.pdf>

^{vi} 農林水産省(平成28年3月)「青森県横浜町 町の出資するSPCを創設し、専門家との連携により身の丈を踏まえながら戦略的な取組を目指す」

<http://www.maff.go.jp/j/shokusan/renewable/energy/pdf/yokohama.pdf>

^{vii} 青森県(平成27年3月24日)「港湾空港課むつ小川原港洋上風力発電に係る事業予定者が決定しました」 http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/kowan/mutsuogawara_furyoku_kettei.html